



【祈りの山宝満山】

栗原隆司/写真 森弘子/文
海鳥社 K291.9ク



古くから神の山として信仰を集め、今なお登山者が絶えない宝満山。四季折々の美しい風景や麓で暮らす人々の生活、竈神社の祭りなどが紹介されています。美しい写真で綴られた珠玉の宝満山ガイドです。

【中原淳一画集】

中原淳一/画・文・装丁
講談社 726.5ナ



2014年、生誕100年を迎える中原淳一。長いまつげと大きな黒い瞳が印象的な少女の絵。その作品と人生を振り返った画集です。時代を超えて、今もなお色あせない作品・言葉が綴られています。



書名

著者名

出版社

分類

【文学】

- ・「光圀伝」 冲方丁/著 角川書店 Fウ
- ・「月の輪草子」 瀬戸内寂聴/著 講談社 Fセ
- ・「凶説百人一首」 石井正巳/著 河出書房新社 911.1イ
- ・「超人ゲーテの人生論」 ヨハソウ・ホルガ・ソグ・フォク・ゲテ/著 リトバソククリイテイブ 940.2ゲ

【歴史】

- ・「新島襄と八重」同志の絆 福本武久/著 原書房 289.1ニ
- ・「江戸の技と匠」独自の文化を支えた職人と科学者たち 双葉社 210.5エ

【郷土】

- ・「福岡県の神社」 アクロス福岡文化誌編纂委員会/編 海鳥社 K175.9フ
- ・「ものがたり太宰府の歴史」 観世広/著 海鳥社 K219.1カ
- ・「大学的福岡・博多ガイド」 高倉洋彰・宮崎克則/編 昭和堂 K219.1ダ

【その他】

- ・「ノーベル平和賞で世の中がわかる」 池上彰/著 マガジンハウス 319.8イ
- ・「時間の凶鑑」 アダム・ハート・テイ・グレイ/著 日暮雅通/監訳 悠書館 421.2ハ
- ・「iPS細胞ができた！」ひろがる人類の愛 畑中正一・山中伸弥/著 集英社 491.1ハ
- ・「ブルゴーニュ華麗なるグランクリュの旅」 ジャッキー・リグー/著 作品社 588.5リ
- ・「人間国宝事典」工芸技術編 南邦男・柳橋真・大滝幹夫/監修 芸艸堂 709.1ニ
- ・「ゴッホを旅する」 南川 三治郎/写真 世界文化社 723.3ミ
- ・「茶道具の楽しみ」取り合わせのくふう 藤井宗悦/著 淡交社 791.5フ
- ・「百年前の日本語」書きことばが揺れた時代 今野真二/著 岩波書店 810.2コ

【絵本】大人におすすめの絵本

- ・「しろいゆきあかるいゆき」 アビソットリュット/さく えくにかおり/やく BL出版 TEシ





ティーンズの本だな 冬号



うみちょうりつとしよかん
宇美町立図書館

Winter

【小さなバイキングビッケ】



ルーネル・ヨンソン：作 評論社
J 949 ヨ
フラケ地方のバイキングの族長を父に持つビッケは、荒くれ者のバイキングにまじって、力ではなく頭で勝負。いつも周りをユーマアと笑いに巻き込み…。スウェーデン発のとびきり楽しい物語。

【ミヤマ物語 第1部】



あさの あつこ：著 毎日新聞社
J 913 ア

この間は、なんて深いんだー。深い山（ミヤマ）には、いろんなモノたちがうごめいている。ウンヌ、雲濡という同じ響きをもった2つの世界をめぐる少年、ハギと透流の物語。

書名

著者名

出版社

分類



【てふてふ荘へようこそ】

乾 ルカ：著

角川書店

Fイ

敷金礼金なし、家賃は月13000円…。破格の条件に隠された理由とは？ 特異な事情を抱えた6人の住人たちの、笑いあり涙ありのおんぼろアパート物語。



【青春ぱんだバンド】

滝上 耕：著

小学館

Fタ

進学校に通う新城は、ある日地元のヤンキー農高生に脅されてバンドを作ることになり…！？ 琵琶湖を舞台に、にかバンドを結成した高校3年生5人組のとびきり熱くキュートなひと夏の物語。



【いとみち】

越谷 オサム：著

新潮社

Fコ

ちっこくて泣き虫で、濃厚すぎる津軽弁の相馬いと。変わりたいと思って始めたアルバイト先は「津軽メイド珈琲店」。日本代表クラスのドジ娘・いとの進化が全速力で始まる！



【日本を読もう わかる古事記】村上 ナツツ：文

西日本出版社

913.2 ム

神々の誕生から、アマテラスと天の岩屋戸、海サチビコ・山サチビコ、ヤマトタケル、仁徳天皇、雄略天皇まで、「古事記」をマンガとわかりやすい文章で読み解く。神々と天皇の系図や、神話ゆかりマップも収録。



【星のパイロット】

笹本 祐一：著

朝日新聞出版

YAFサ

民間の航空宇宙会社がしのぎを削り、パイロットたちが腕を競う宇宙開拓時代。小さな身体に無限の夢を詰め込んだ、女性宇宙飛行士の羽山美紀は、雇われ宇宙飛行士の仕事へと踏み出すが…。



【光への階段 PTSDの彼方へ 歩ける日を夢見て】宮下 自由：著 銀の鈴社 YA911ミ

ぼくの家のうらには 大きなカシの木が六本あります 今まで父が 毎年七月 枝おろしをしてきました（「カシの木」より） 小学5年生でPTSDになり、起立歩行が困難になった少年の詩、俳句、短歌等の作品を収録する。



【羅生門】

日野 多香子：文 早川 純子：絵

金の星社

Eラ

荒れ果てた京の都で、母に捨てられた少年・ゆきまろ。盗人の親分に拾われたゆきまろは、人の衣類を剥ぎ取り、物を奪う盗人となる。やがて心の痛みもなくなっていき…。今昔物語集に題材をとった、「羅生門」の新しい創作物語。